

「魅力ある学校」づくり構想の 検討状況について

平成28年（2016年）11月

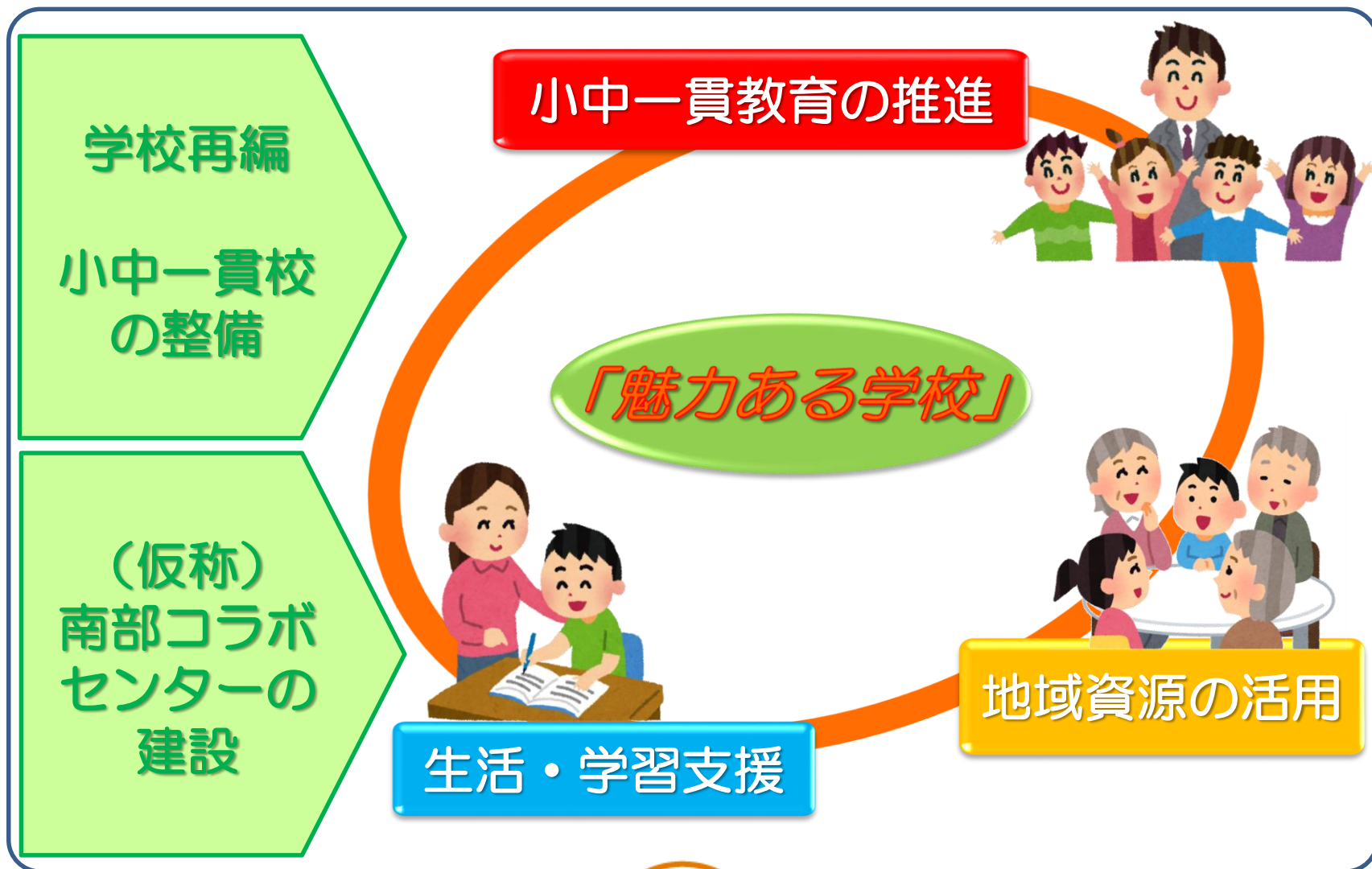


ご説明させていただく内容

1. 「魅力ある学校」について
2. 「魅力ある学校」づくり構想について
3. 通学に係る安全確保について
4. 今後のスケジュールについて
5. その他の検討状況について



「魅力ある学校」づくり構想



これまでにいただいたご意見（振り返り）

- 教育内容に関すること
 - ・ 小中一貫教育／施設一体型の課題等
- 学校再編案及びスケジュールに関すること
- 通学距離、通学の安全確保に関すること
- 地域コミュニティに関すること
- まちづくり、学校跡地の利活用に関すること



1. 「魅力ある学校」について

◆ 私たちが思い描く、庄内地域の新たな学校像

- ・9年間の一貫した「確かな学び」を通じて、**大きな“夢”や“目標”に向かって進む子どもを育む学校**
- ・多様な出会いを通じて、一人ひとりが自分を大切に、相手を思いやり、**共に成長できる学校**
- ・子どもの学びの場・居場所として、また、地域に支えられ、**一人ひとりが誇りに思える学校**



庄内地域の子どもたちにつけたい力

1. 将来の進路を見据えた「**学力**」

2. 多様な人間関係の中で磨かれる「**社会性**」

3. 自らの人生を切り拓くための「**自立心**」



1. 「魅力ある学校」について

学力

思考・判断・
表現

基礎基本
知識・技能

コミュニケーション力
人間関係力

あきらめない
粘り強い姿勢

自己肯定感
自己有用感

9年生
15歳

自立心

1年生
7歳

社会性



小中一貫教育のメリット

1. 9年間系統的で連続性のある学習指導
2. 9年間一貫性のある生徒指導
3. 9年間保護者・地域との信頼関係に基づく
連携・協働



確かな学力を育む取り組み

○小学校と中学校9年間の連続性

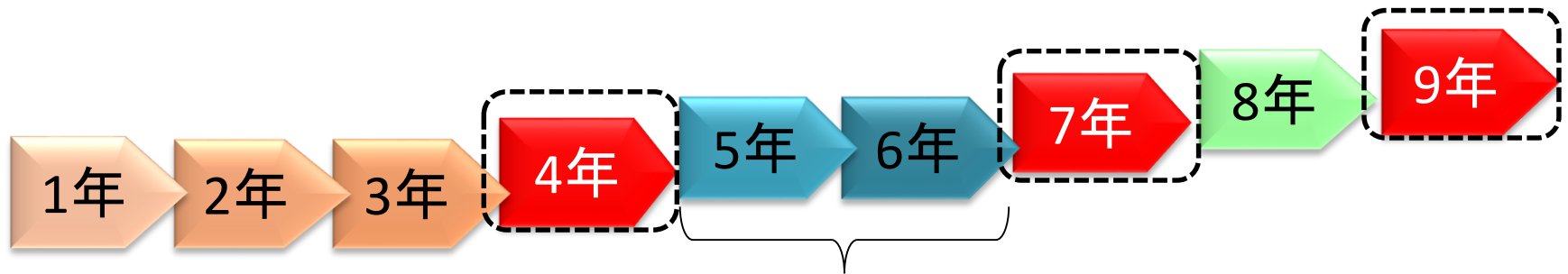
特に、いわゆる「中1ギャップ」を防ぎ、なだらかな接続が期待できる

小学校						中学校		
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生

小中学校の教職員が連携し、9年間を通した教育活動を展開



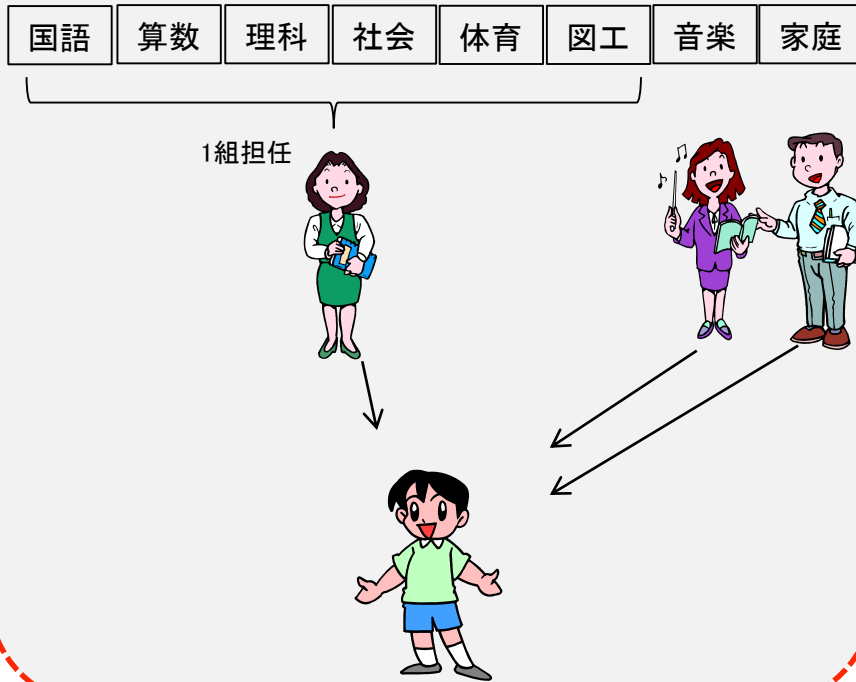
発達段階に応じた指導区分



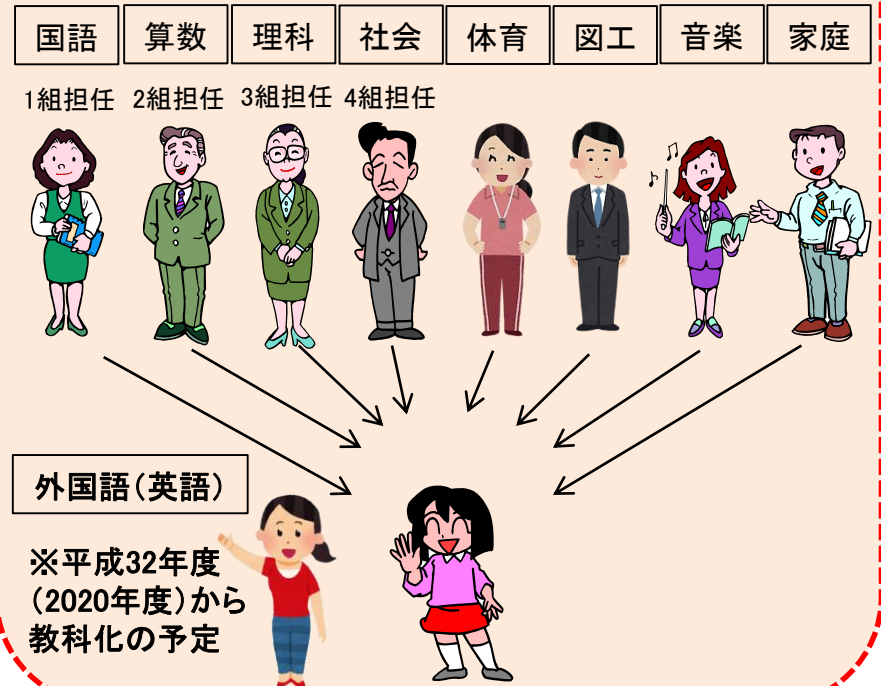
前期(定着期)	中期(活用期)	後期(発展期)
基礎・基本の習熟を図り、学校や家庭での学習習慣を定着させる時期	基礎・基本を活用し、自ら考え判断する力、表現する力をつける時期	基礎・基本を活かし、学んだ内容や学び方を活用し発展させる時期
学級担任制	一部教科担任制	教科担任制

小学校高学年からの教科担任制導入

例：通常の5年1組



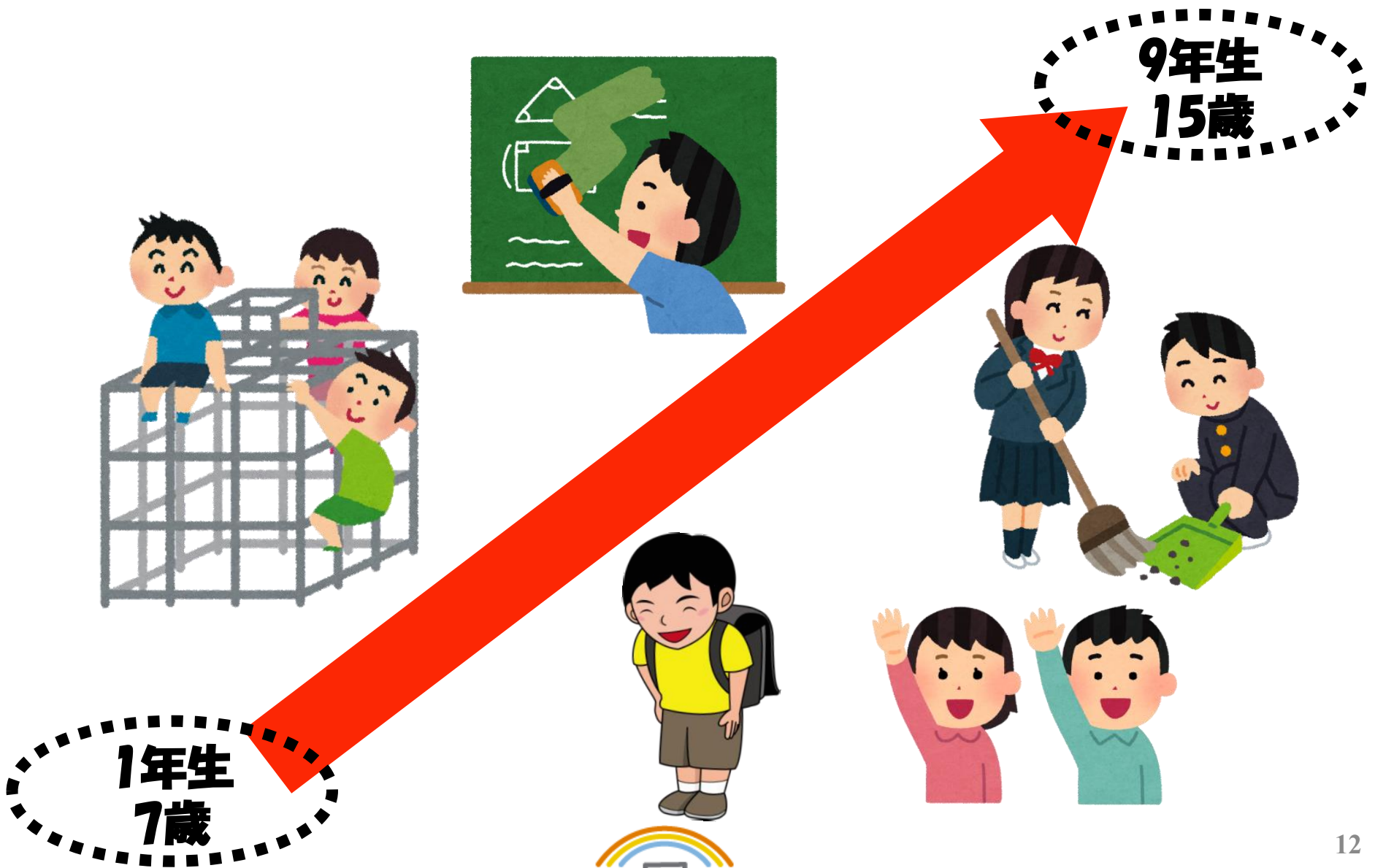
例：教科担任制を導入した場合



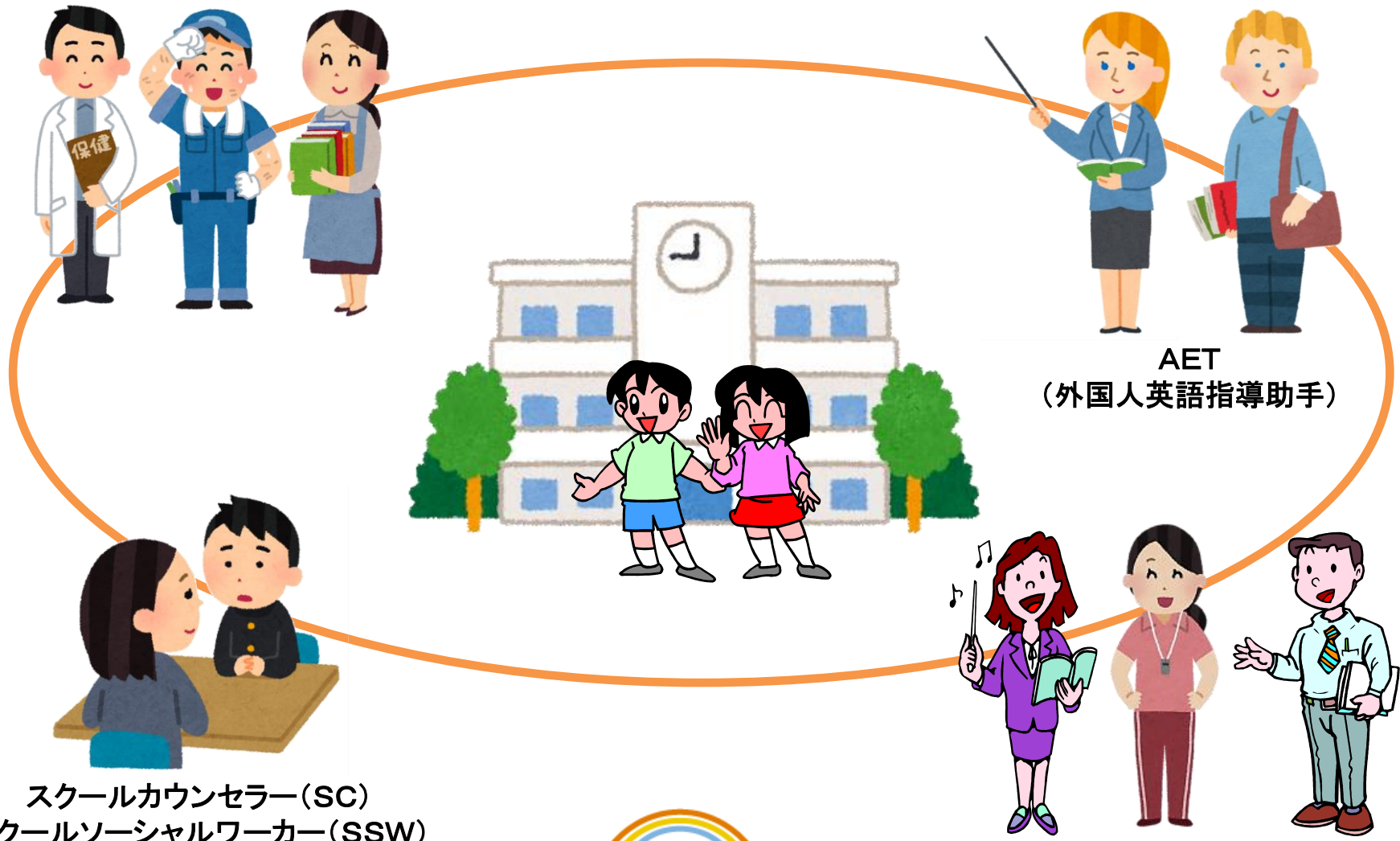
- ・複数の教員が児童にかかわることにより、児童の人間関係や学習経験の広がりが期待できます
- ・小学校時代に担任以外の教師と数多くふれ合う経験をすることは、不安を軽減させ中学校生活にスムーズに移行することも期待できます



9年間一貫性のある生徒指導



子どもたちの学びを支える人的支援



異学年交流

中学生による読み聞かせ



あいさつ運動



たてわりランチタイム



運動会

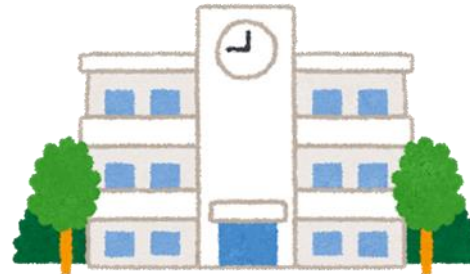


地域との連携・協働の取り組み



豊中型「地域とともにある学校」

庄内南校区地域子ども教室
「七夕まつり」



学校支援ボランティアによる
登下校時安全指導(上)
放課後学習指導(下)

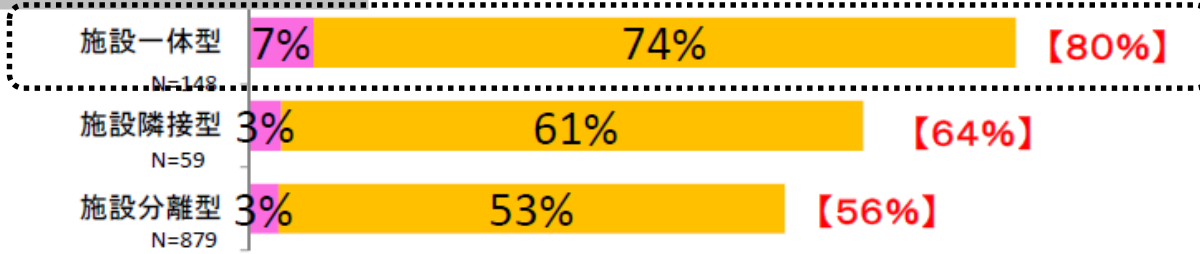


島田校区地域子ども教室
「サッカー教室」

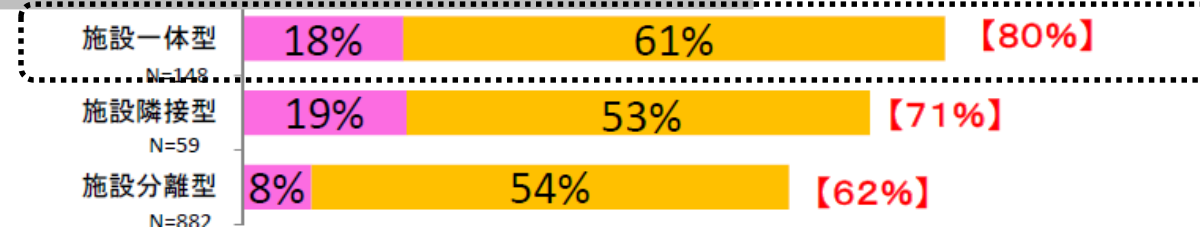


施設形態 × 小中一貫教育の成果

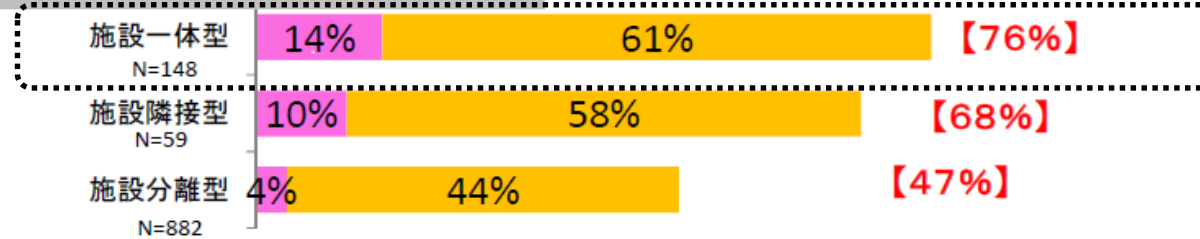
⑨ 学習意欲が向上した



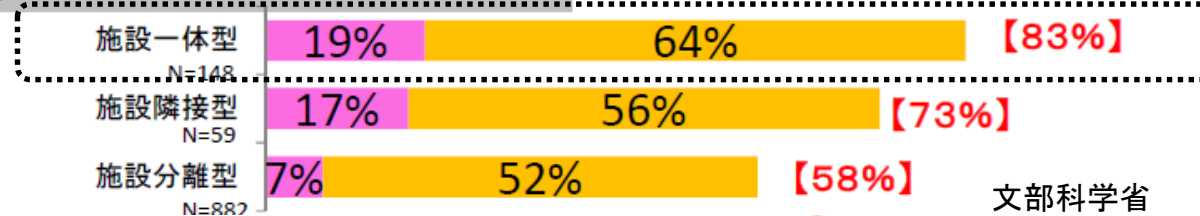
⑩ 児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



⑩ 保護者との協働関係が強化された



⑩ 地域との協働関係が強化された



■ 大きな成果あり ■ 成果あり

施設一体型
小中一貫校
が有効

文部科学省
小中一貫教育等についての実態調査(平成27年2月)より

1. 「魅力ある学校」について



丘学園(箕面市)での外国語活動の様子



ふれあいラウンジを活用した地域連携のイベント
(埼玉県戸田市立芦原小学校)



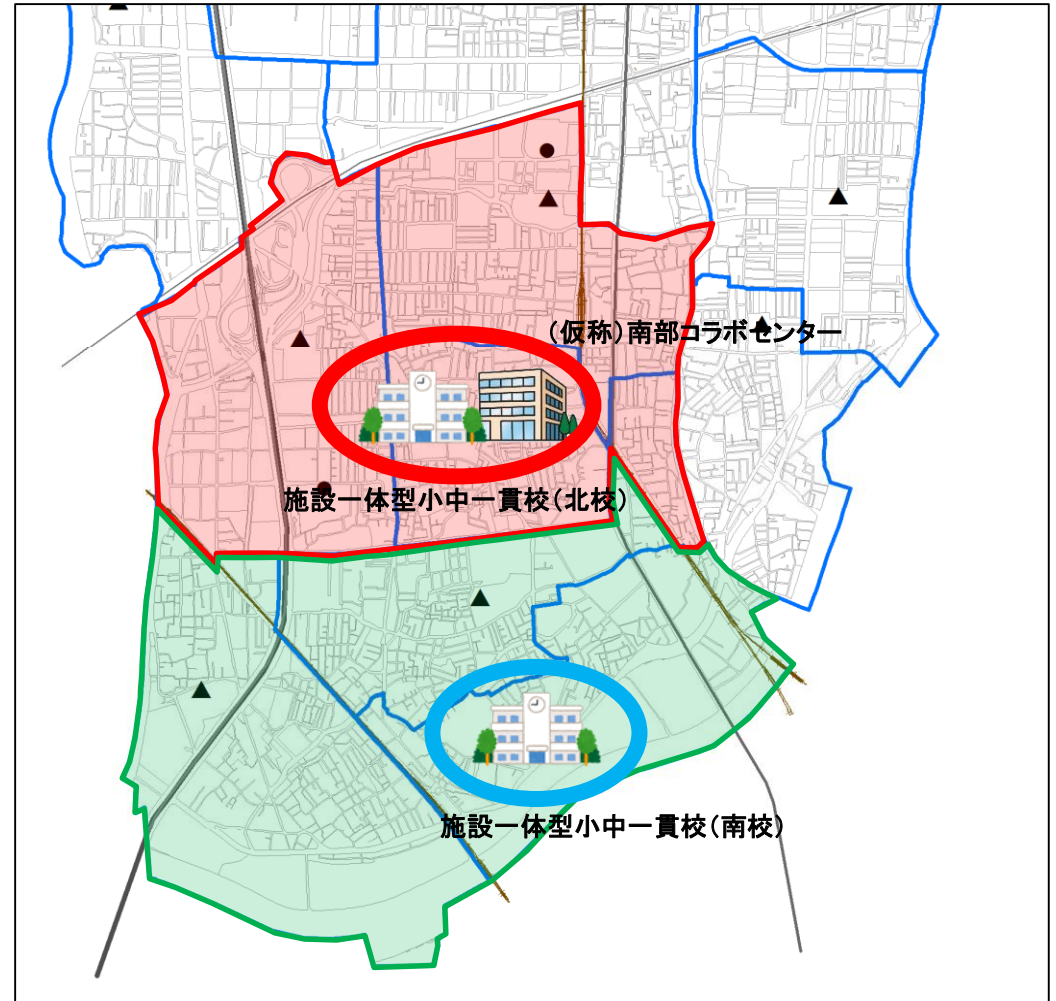
彩都の丘学園(箕面市)での歌声集会の様子



2. 「魅力ある学校」づくり構想について

施設一体型小中一貫校
(南北2校)を整備します

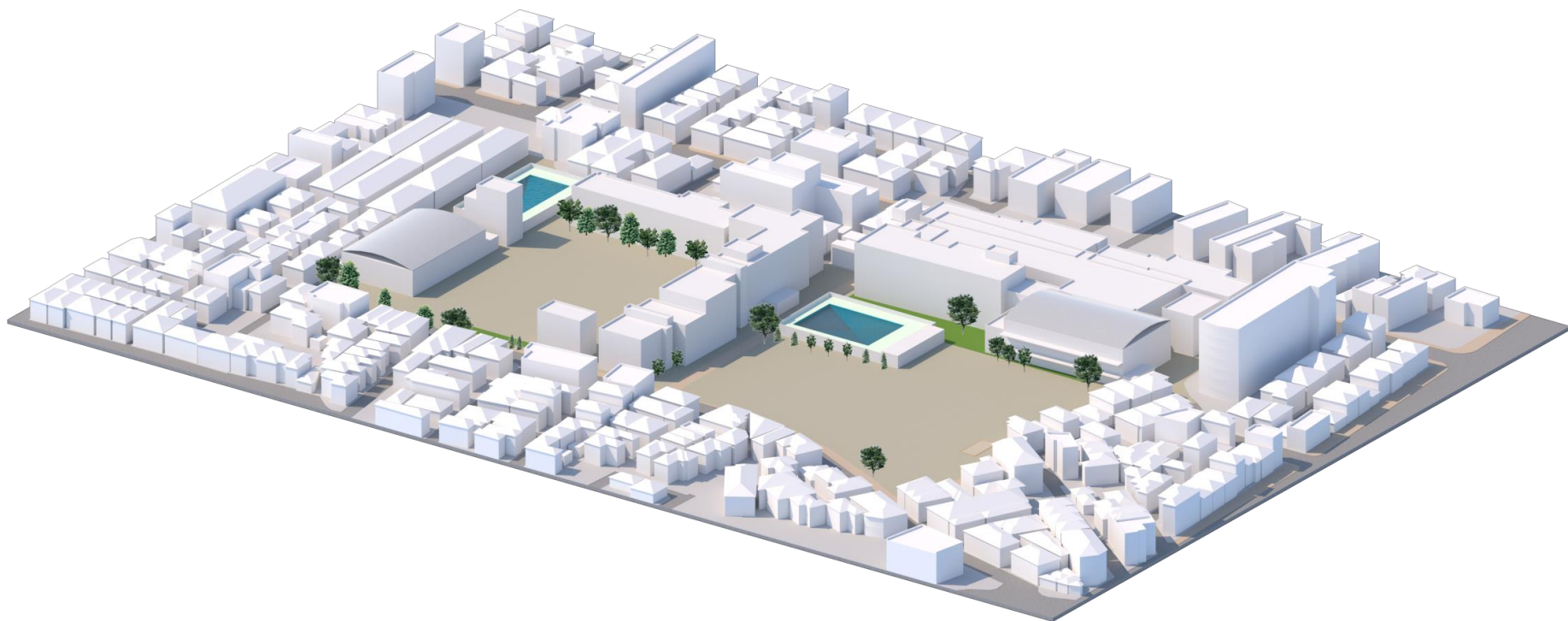
北校	南校
<ul style="list-style-type: none"> ・庄内小学校 ・野田小学校 ・島田小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内南小学校 ・庄内西小学校 ・千成小学校
北校	南校
庄内小学校 敷地	千成小学校 敷地



※南校は、千成小学校に隣接するせんなりこども園の敷地を加えて整備することも想定していますが、決まったものではありません。せんなりこども園も含め、公立こども園については、将来予測される人口の減少に備え、中長期的な適正配置について検討を行っているところです。

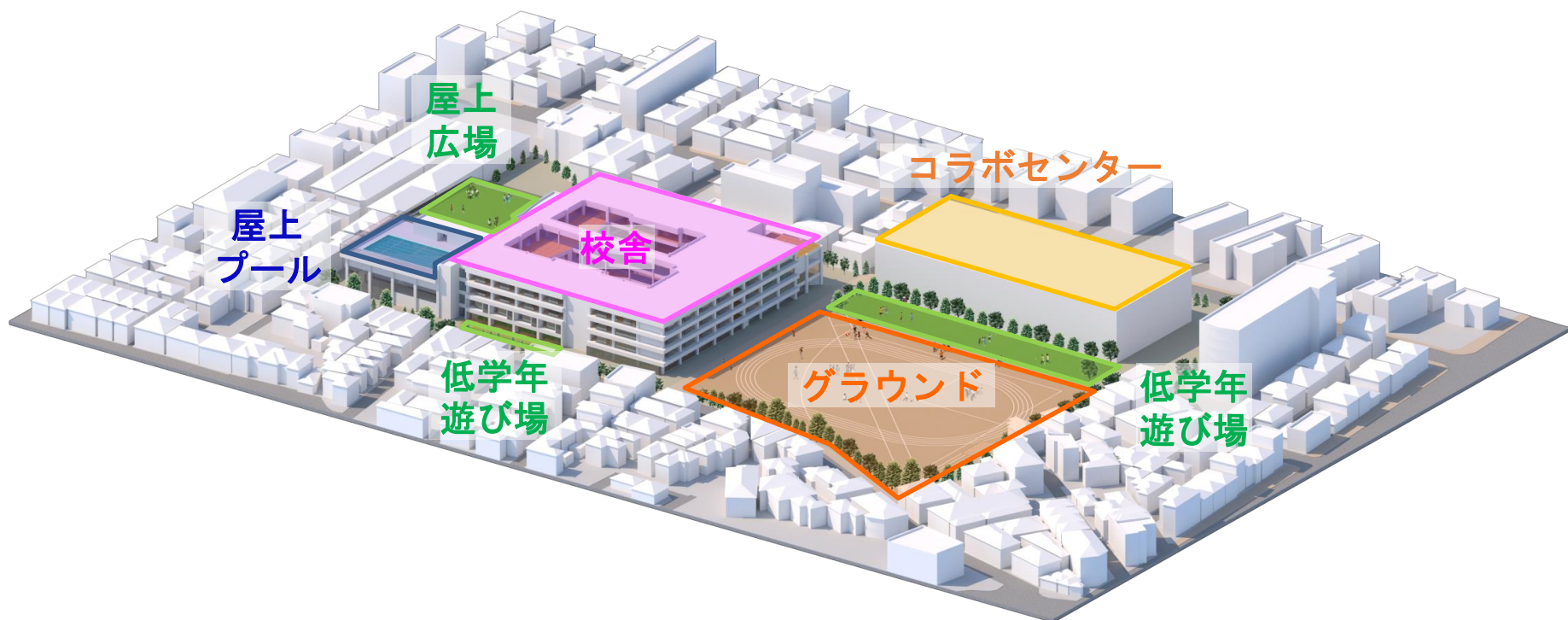
北校候補地(現況)

2. 「魅力ある学校」づくり構想について



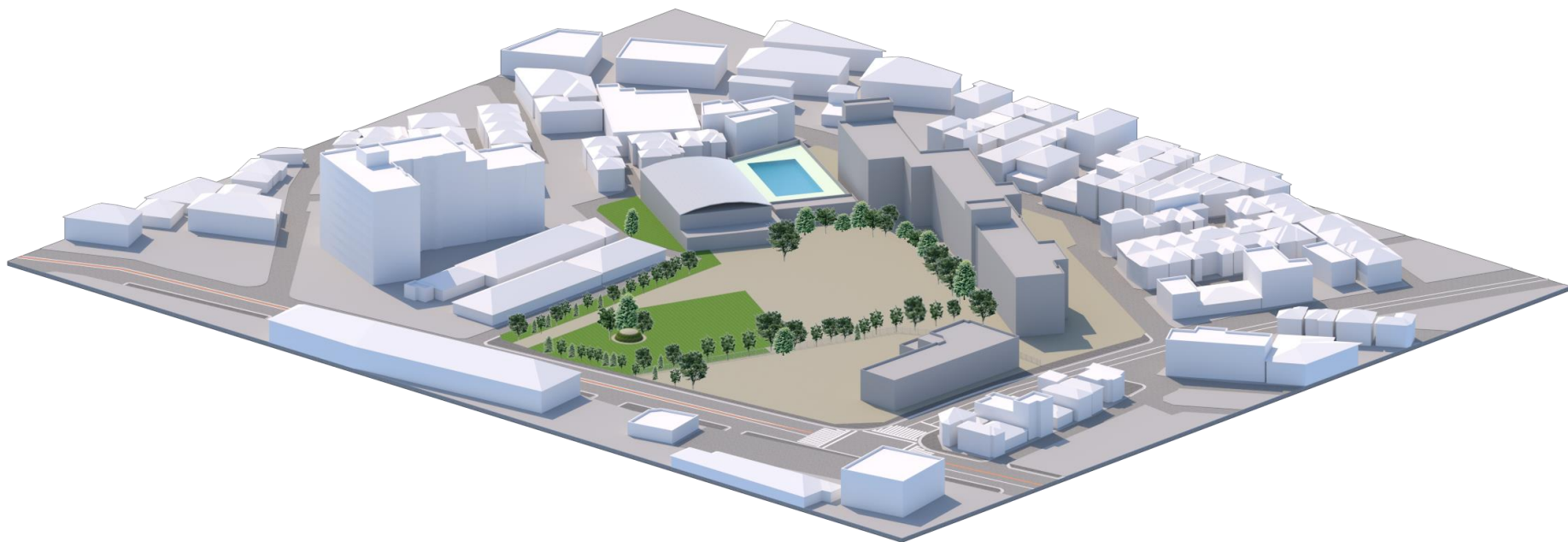
北校候補地(新設例)

2. 「魅力ある学校」づくり構想について



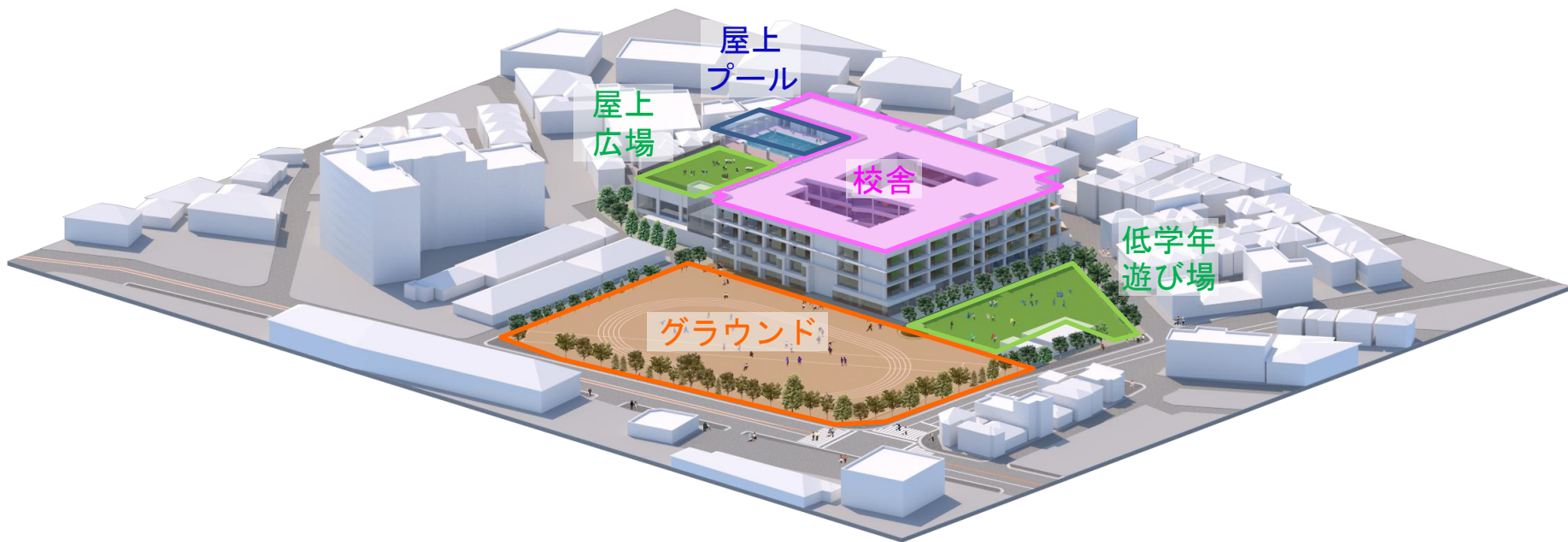
南校候補地(現況)

2. 「魅力ある学校」づくり構想について



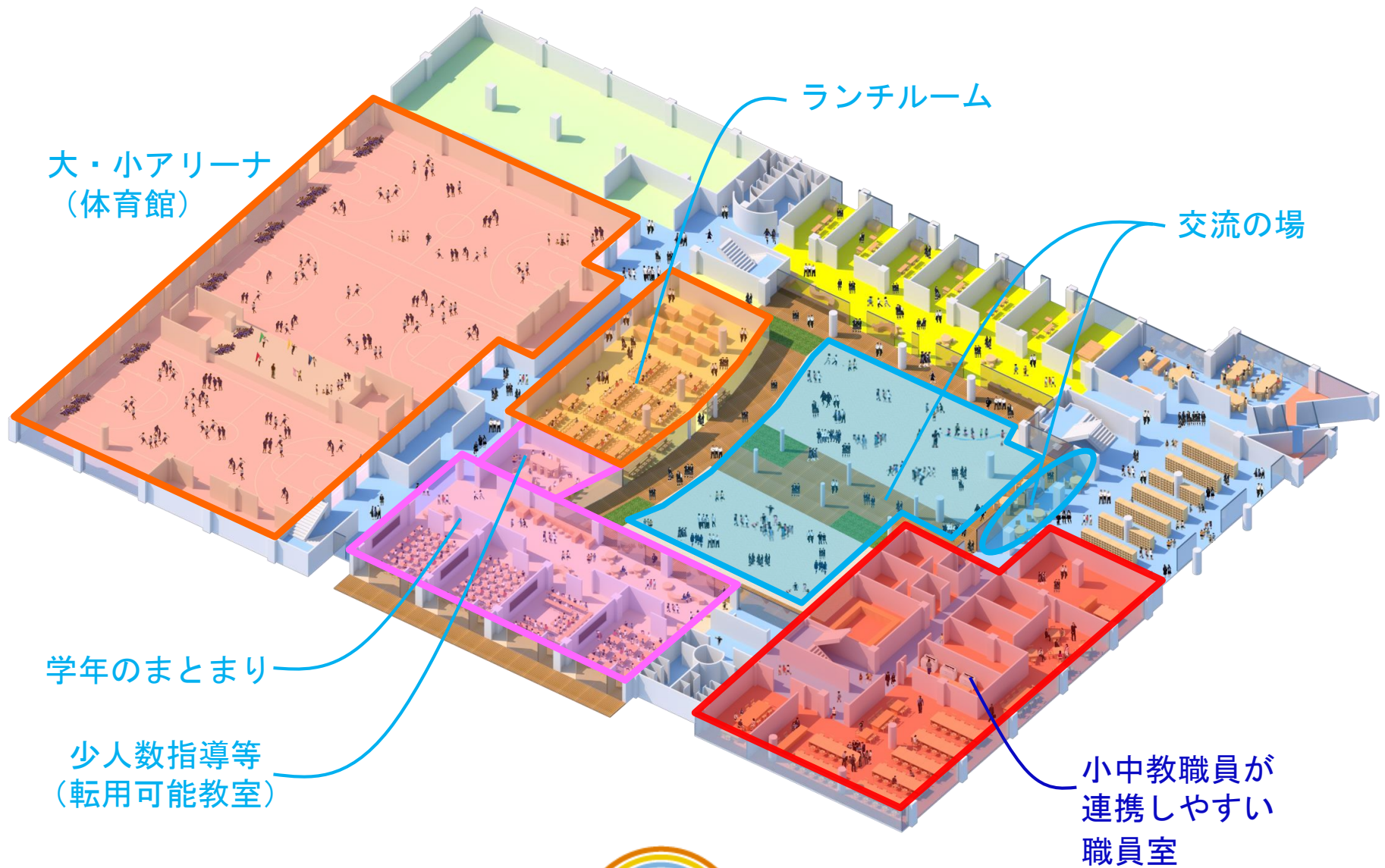
南校候補地(新設例)

2. 「魅力ある学校」づくり構想について



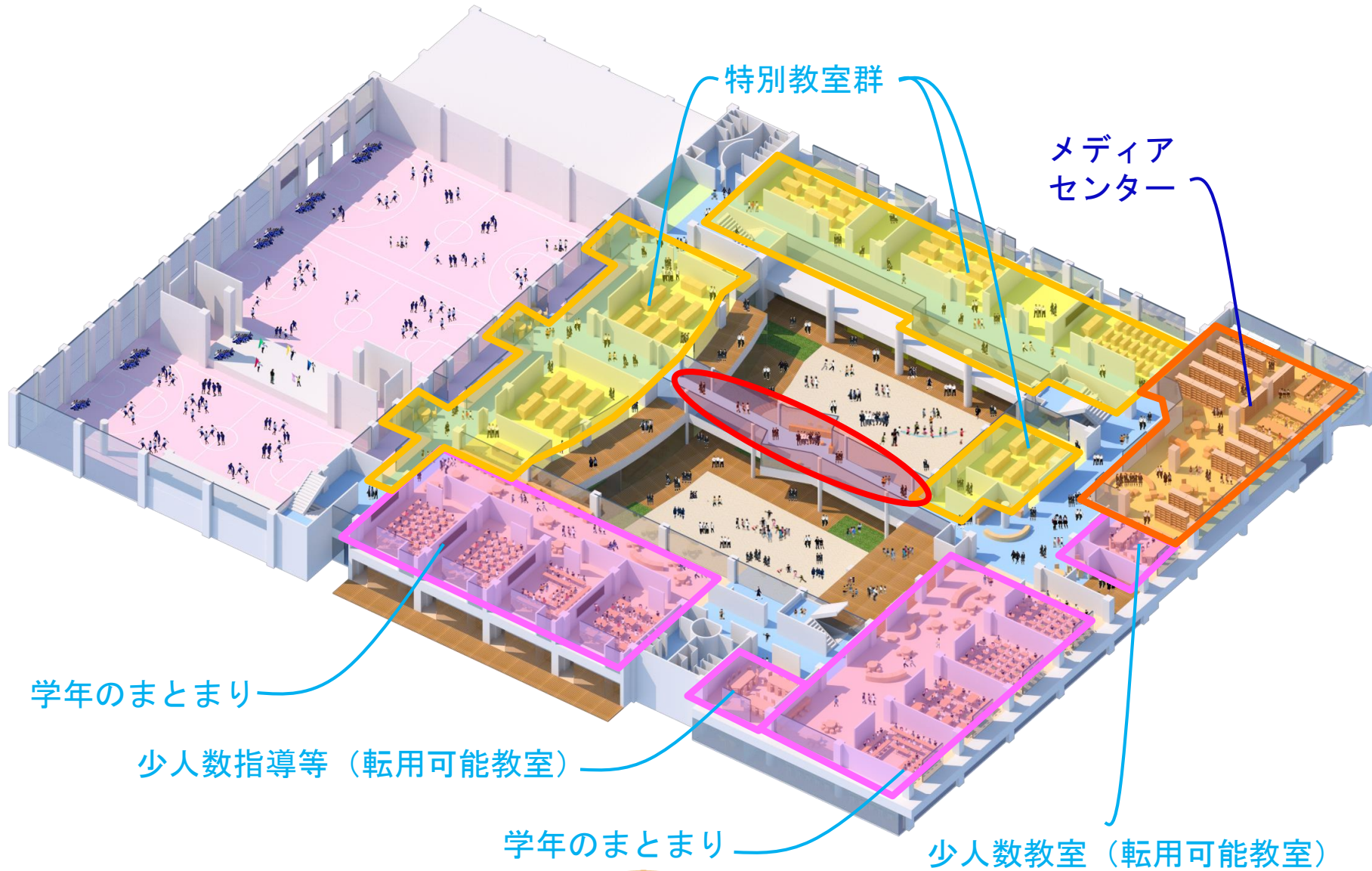
施設一体型校舎の例(1階フロア)

「魅力ある学校」づくり構想について



施設一体型校舎の例(2階フロア)

「魅力ある学校」づくり構想について



学年のまとめり

少人数指導等 (転用可能教室)

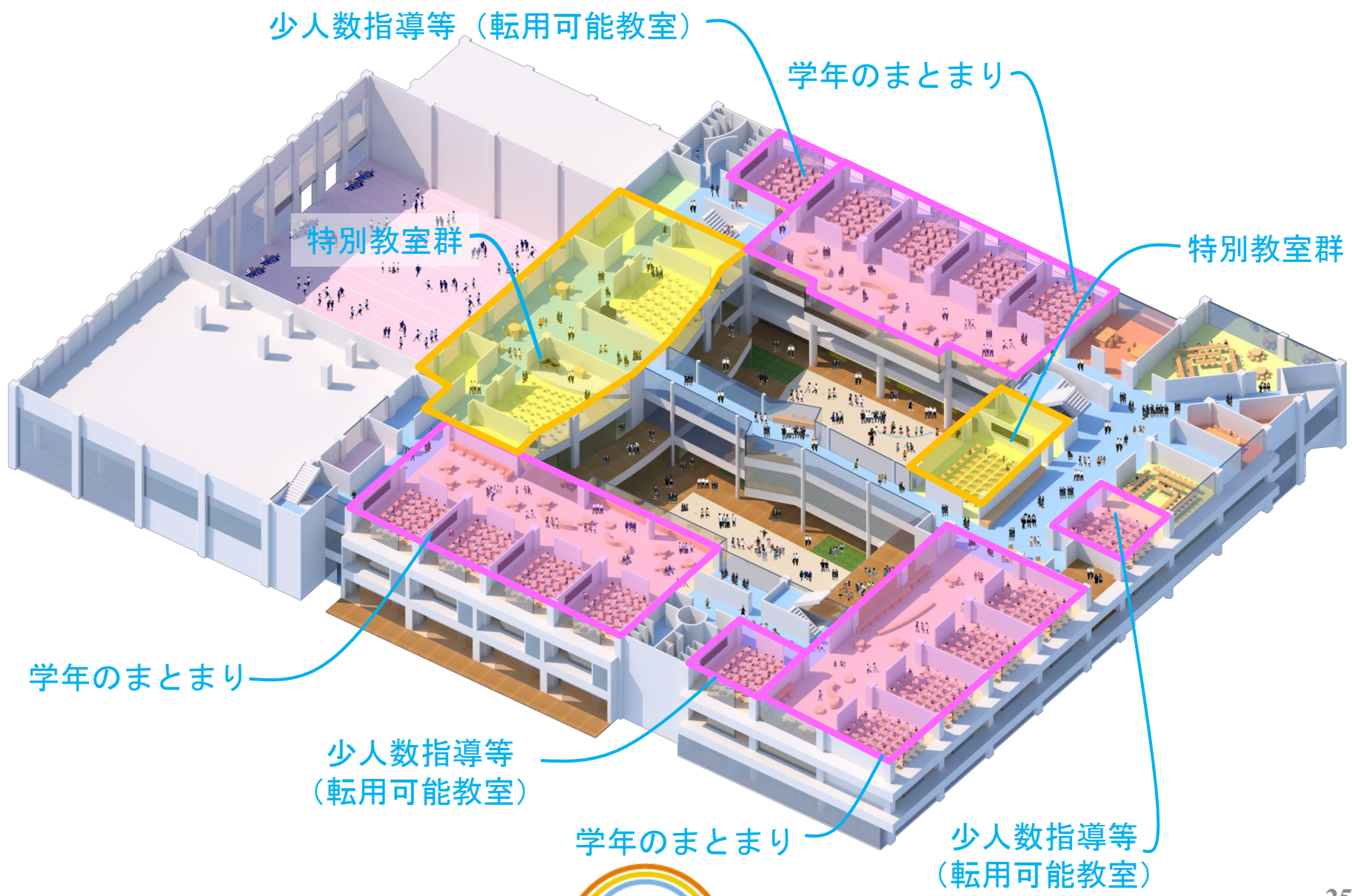
学年のまとめり

少人数教室 (転用可能教室)

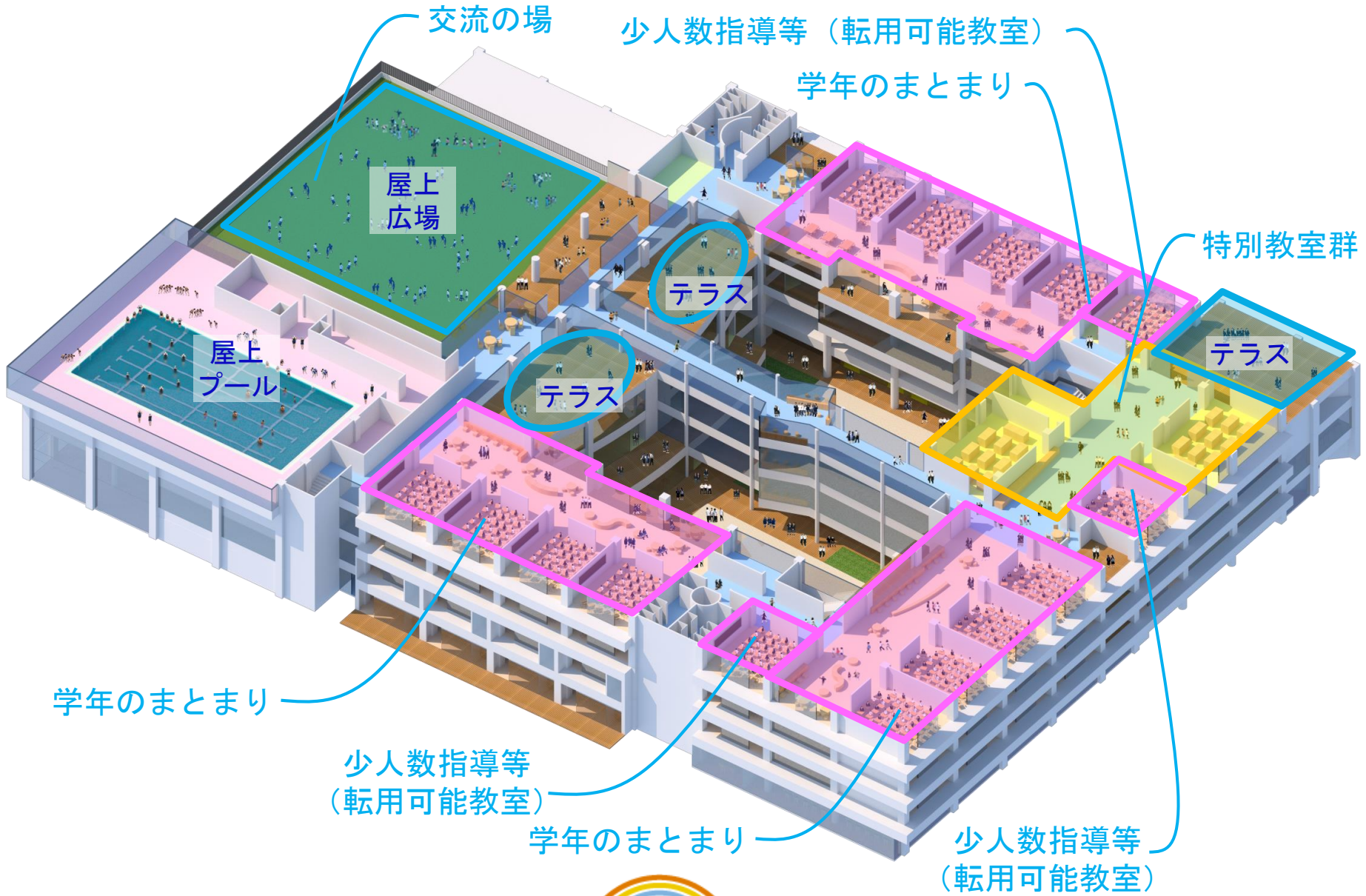


施設一体型校舎の例(3階フロア)

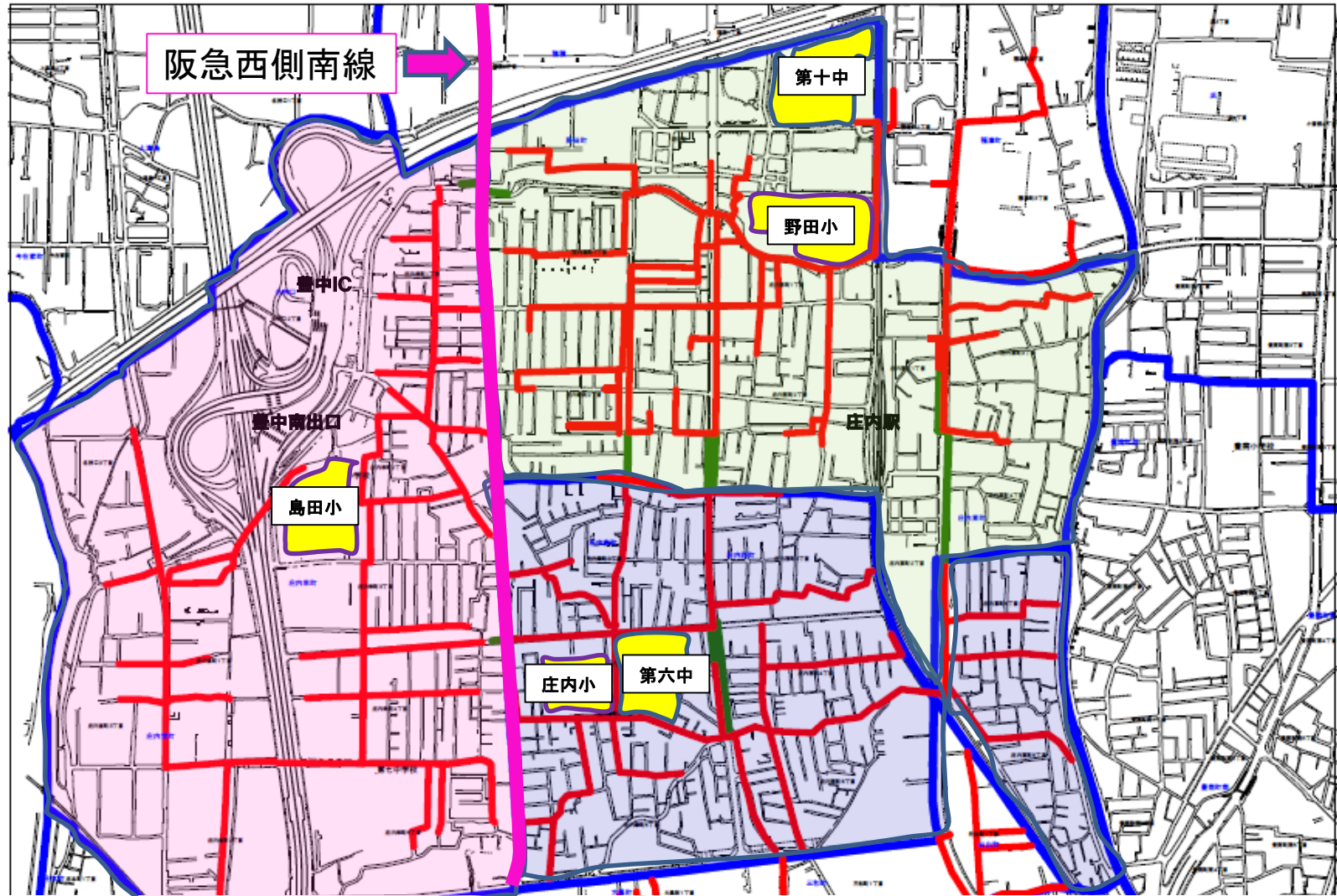
「魅力ある学校」づくり構想について



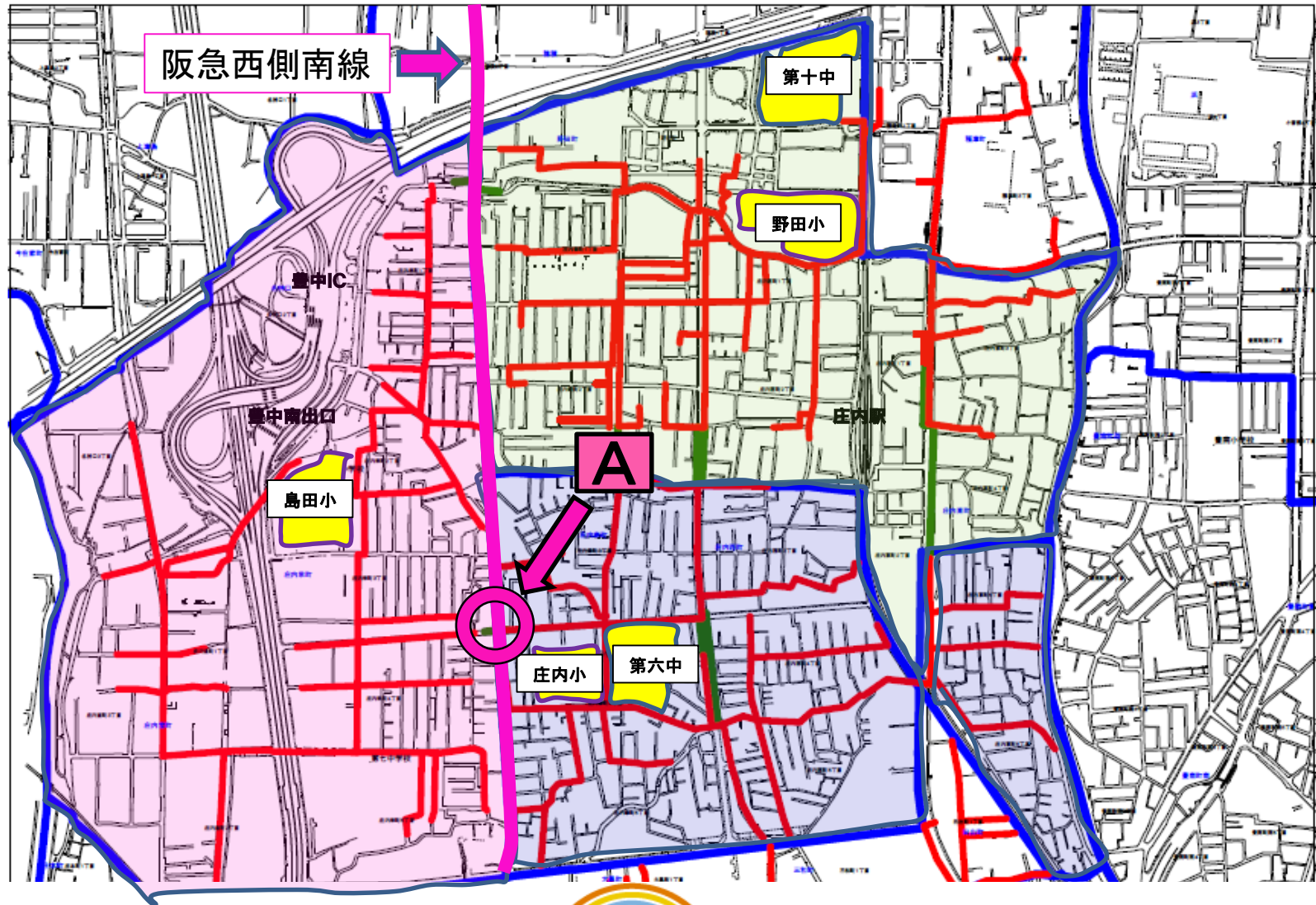
施設一体型校舎の例(4階フロア) 「魅力ある学校」づくり構想について



3. 通学に係る安全確保について



3. 通学に係る安全確保について



3. 通学に係る安全確保について

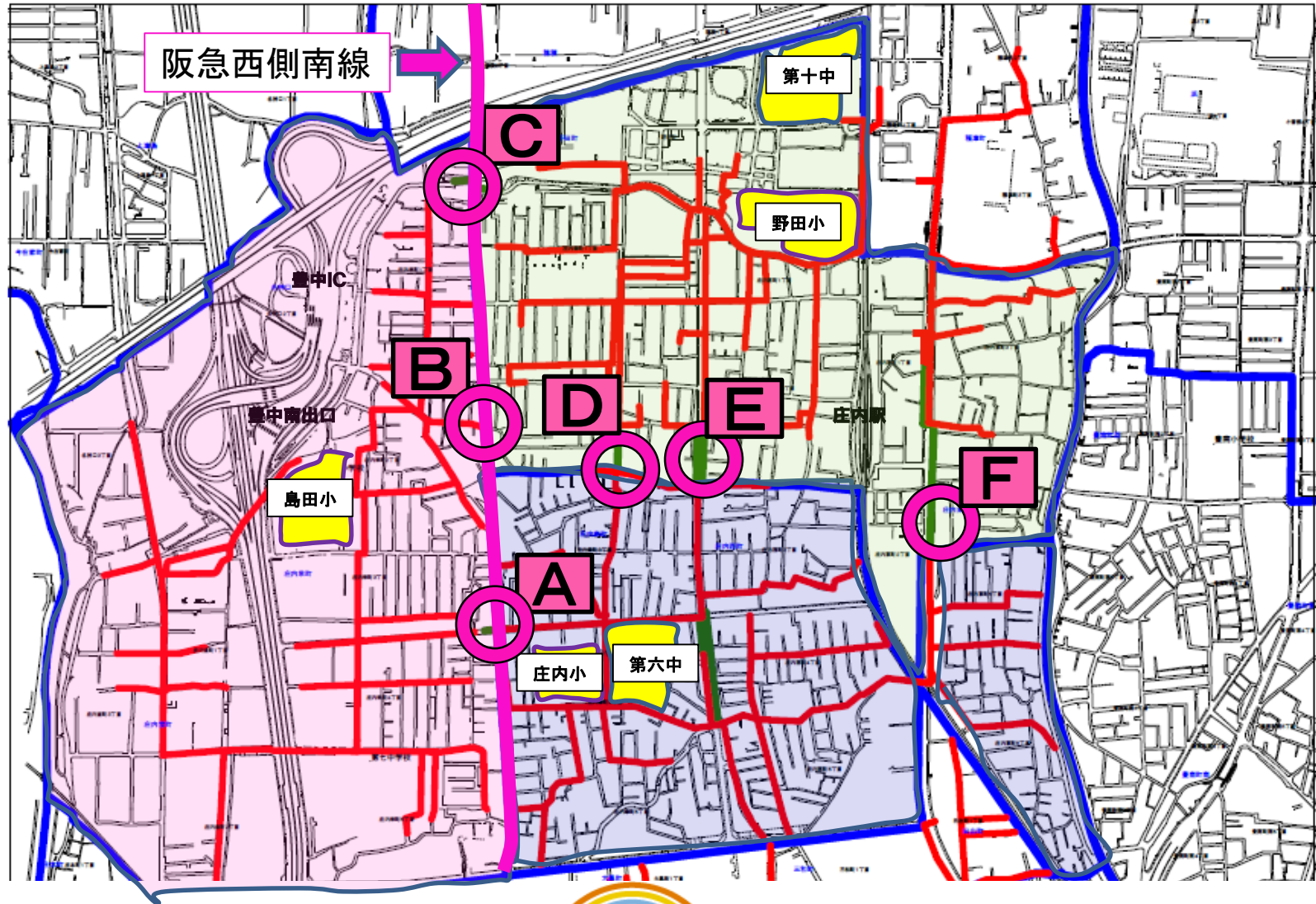


A

庄内小学校方面



3. 通学に係る安全確保について



想定される安全対策について

(例)



集団登校



子どもの安全見守り隊

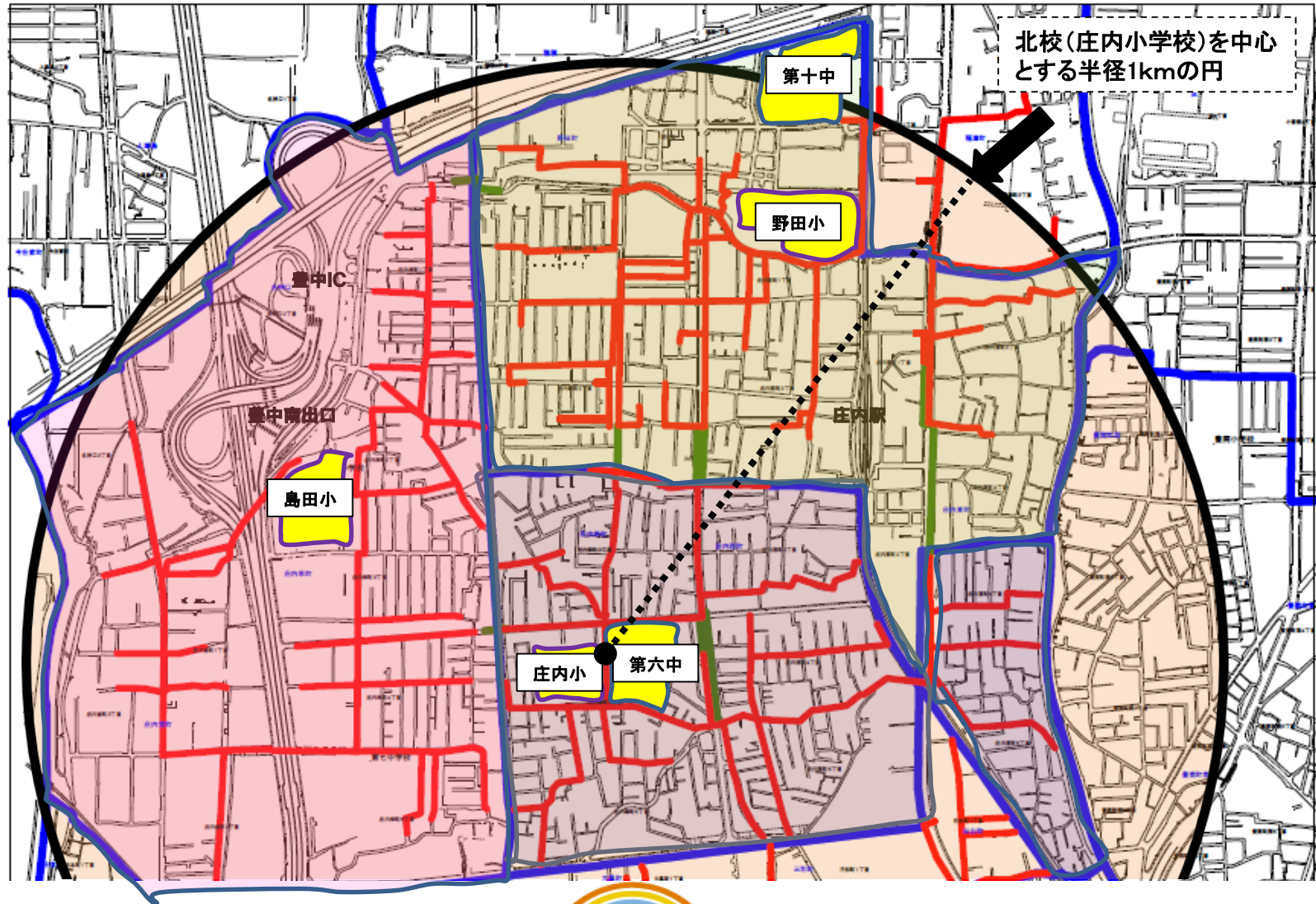


メール配信サービス

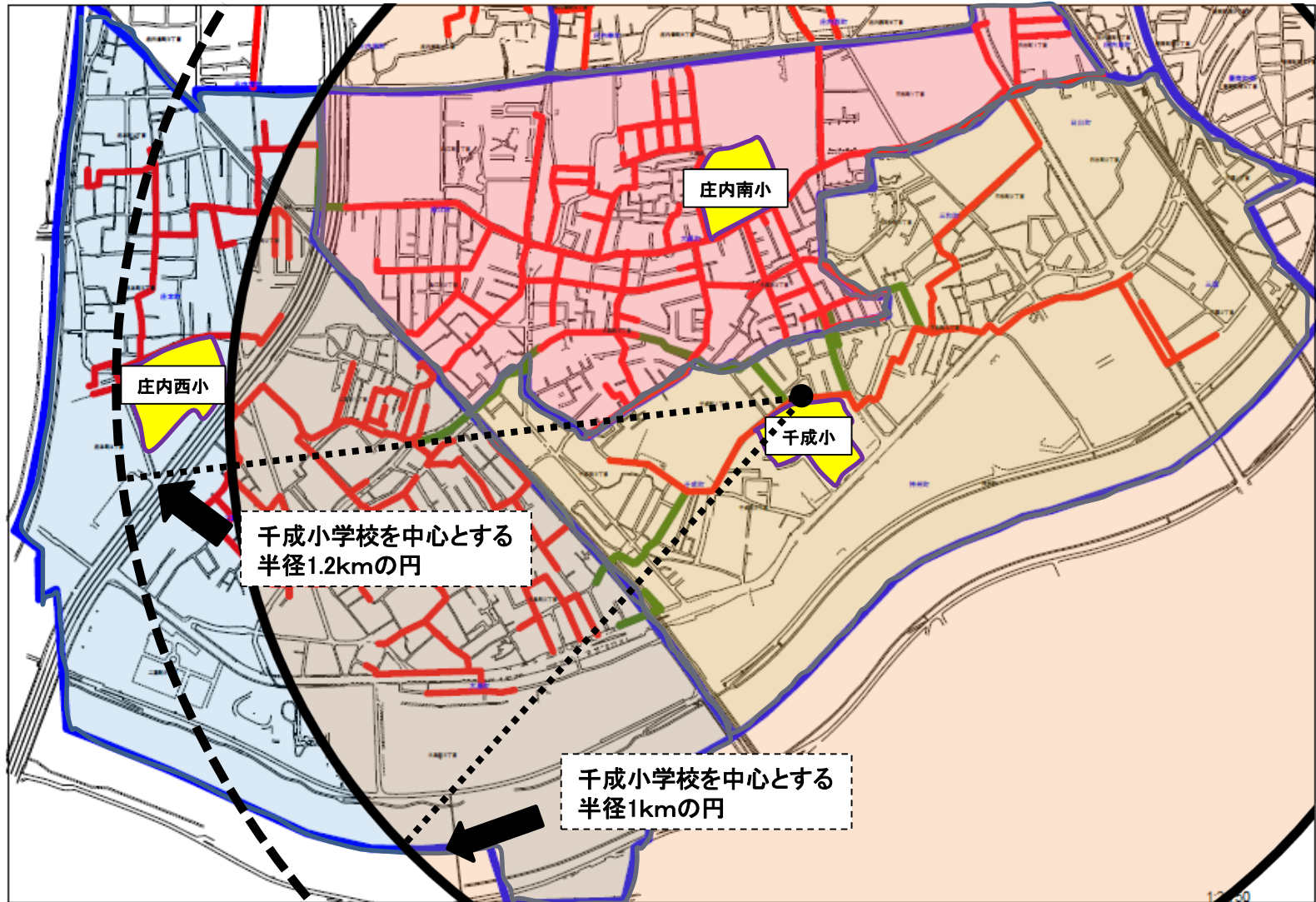


見守りカメラ

3. 通学に係る安全確保について



3. 通学に係る安全確保について



4. 今後のスケジュールについて

【再編スケジュール（案）】

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成36年度 (2024年度)
北校	計画策定	基本設計	実施設計	建設工事		新校舎 (庄内小敷地)に移転 施設一体型小中一貫校として		
北校 仮校舎	/		改修工事	野田小／十中敷地 (施設分離型小中一貫校として)				
南校			計画策定		基本設計	実施設計	建設工事	
南校 仮校舎	/				改修工事	庄内南小／七中敷地 (施設分離型小中一貫校として)		

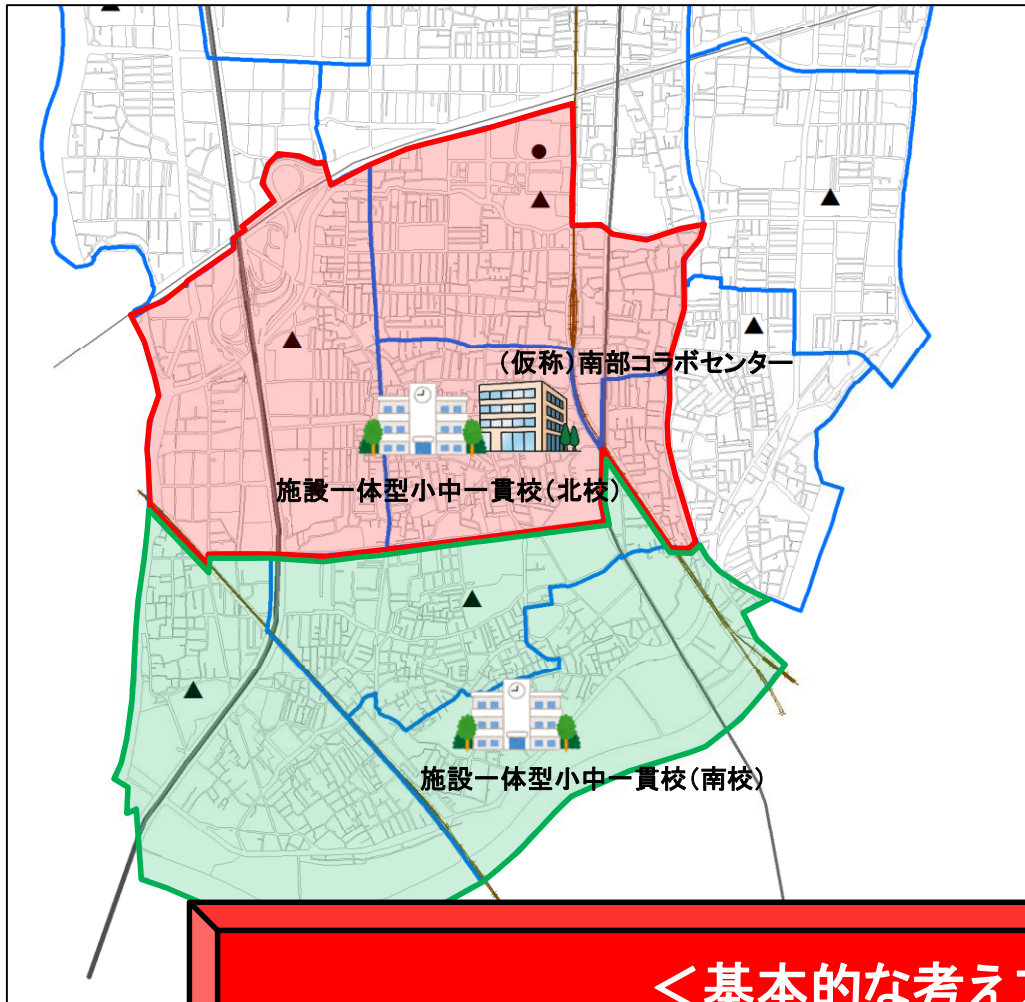


これまでにいただいたご意見（振り返り）

- 教育内容に関すること
 - ・ 小中一貫教育／施設一体型の課題等
- 学校再編案及びスケジュールに関すること
- 通学距離、通学の安全確保に関すること
- 地域コミュニティに関すること
- まちづくり、学校跡地の利活用に関すること



地域コミュニティについて



【小学校区単位】

公民分館
校区福祉委員会
地域自治協議会
自主防災組織
地域子ども教室 等

【中学校区単位】

青少年健全育成会
地域教育協議会 等

＜基本的な考え方＞
地域の皆様の意向を尊重し、引き続き支援に努めます。

学校跡地の利活用 検討の流れ

- ① 学校施設を利用している地域の活動(※)の場として検討
※地域のコミュニティ活動、防災活動など



- ② 南部地域活性化に向けた活用方策の検討



- ③ 市全体からみた活用方策の検討

運営主体について

地域による運営

市による運営

民間活力の導入

→ 複合的な利活用について多様な運営手法から検討



(仮称)南部地域活性化構想

南部地域におけるこれまでの取り組みや課題を整理したうえで、今後の南部地域のまちづくりの方向性等を示した「(仮称)南部地域活性化構想」を平成29年度(2017年度)に策定予定

<基本テーマ>

子ども

にぎわい

安全・安心

～10年

～20年

～30年

子育て・子育て環境の充実

(魅力ある学校づくり、居場所づくり 等)

まちの魅力の向上

(音大やものづくり産業など地域資源を活かしたまちの魅力向上・発信 等)

安全・安心・まちの基盤づくり

(コラボを中心とした公共施設の再編、道路整備、地域コミュニティの強化 等)

(仮称)南部コラボセンターの整備

★コラボセンターに集約する施設・機能(予定)★

①【既存】老朽化した施設の更新

- 庄内文化センター(公民館・図書館・老人福祉センター)
- 庄内出張所
- 労働会館
- 庄内保健センター

②【新規】地域の課題解決や魅力づくりにつながる機能

- | | |
|----------------|----------------------|
| ●子育てしやすい環境づくり | 子育て支援機能、学力向上地域学校連携機能 |
| ●安定した就労への環境づくり | 就労・キャリア形成支援機能 |
| ●市民活動推進への環境づくり | 市民活動・NPO活動支援機能 |

公共施設の再編

公立こども園の適正配置について

「公立こども園の適正配置に向けた基本方針」策定

将来予測される子どもの数の減少を見据え、中長期的な課題として公立こども園の適正配置について計画的に取り組むための基本的な考え方や方向性を示したもの（平成28年（2016年）9月策定）。

今後の流れ

待機児童解消の取組みを最優先



平成29年度（2017年度）に全体案を作成

「庄内地域における魅力ある学校づくり構想」等
南部地域における取組みとの整合性



全体案に基づく各公立こども園の実施計画の検討



庄内地域における「魅力ある学校」づくり
構想に関する意見等や、意見交換会
開催の要望等があれば、下記まで
ご連絡ください。

【連絡先】

豊中市教育委員会事務局 学校教育課

TEL:06-6858-2705／FAX:06-6846-9649

E-Mail: kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

